

哲学委員会（第 26 期・第 6 回）及び合同分科会
議事要旨

日 時：2024 年 11 月 30 日（土）11：00～12：30

場 所：オンライン会議にて開催

出席者：河野哲也（委員長）、吉水千鶴子（副委員長）、中村征樹（幹事）、奥田太郎（幹事）、吉岡洋、一ノ瀬正樹、今井康雄、上原麻有子、小田部胤久、加藤隆宏、加藤泰史、川端美季、小島優子、近藤存志、武田宙也、田坂さつき、津崎良典、土井健司、直江清隆、納富信留、野家啓一、福永香、藤原聖子、護山真也、師茂樹、八尾史、八木久美子、頼住光子

※「現代における「いのち」を考える分科会（第 26 期・第 6 回）」は、出席委員数が定足数を満たさなかったため不成立。

<哲学委員会>

1. 前回議事録の確認

前回議事録が確認された。

2. 合同分科会報告事項の確認

合同分科会での報告事項（総会報告、公開シンポジウム、分科会への予算配分）について相談し、確認を行った。

<合同分科会>

1. 総会の報告

河野委員長より、第 192 回総会について報告がなされた。

2. 公開シンポジウム報告

中村幹事、師委員より、10 月 26 日に開催された公開シンポジウム「脳組織を人工的につくることの意味を考える～科学者と哲学・倫理学・宗教学者との対話から～」について報告がなされた。

3. 分科会への予算配分

分科会への予算配分の現状について、吉水副委員長より報告があった。予算面について相談がある場合は、事務局に問い合わせしてほしい旨、説明が行われた。

4. 分科会の 2024 年度の活動状況と 2025 年度の活動予定

哲学委員会、および各分科会の活動状況と 2025 年度の活動予定について各分科会委員長・副委員長より下記の通り報告がなされた。

- ✓ 現代における「いのち」を考える分科会…同分科会の活動状況として、テーマとしては安楽死、尊厳死をテーマにこれまで 5 回の分科会を開催した。意思の表出の申し出について準備したい。

- ✓ 芸術と文化環境分科会…現在、9名の体制で実施している。公開シンポジウムの実施について検討している。意思の表出についてはとくに予定していない。
 - ✓ 今に生きる・活かす古典を考える分科会…高校生や大学生にむけて古典に関するアンケートを実施し、現在、その結果について集計中である。その分析結果を踏まえて今後の活動について検討していく。東京都高等学校公民科「倫理」「公共」研究会と連携をとりながらすすめていくとともに、出張講義の実施等を検討している。
 - ✓ 世界哲学構築のための分科会…分科会として招致活動を行い、2028年、第26回世界哲学学会（World Congress of Philosophy: WCP）が東京で開催されることが決定された。また、今後、どのようなかたちで世界哲学の理念をつくっていくかについて検討していくとともに、シンポジウムないし研究会の開催を検討している。
- また、関連する2分科会の活動状況について、分科会委員長・副委員長より報告がなされた。
- ✓ 史学委員会・哲学員会合同設置 科学技術・学術の政策に関する歴史的・理論的・社会的検討分科会…意思の表出を検討している。今後、ワーキンググループにて検討をすすめていく。
 - ✓ 社会学委員会・哲学委員会・心理学・教育学委員会・法学委員会・経済学委員会合同 子どもの権利保障分科会…子供の貧困や、障害のある子どもの意見表明権などについて報告や意見交換を行っている。意思の表出を予定している。

5. 哲学委員会の2025年度の公開シンポジウムとアウトリーチ活動

河野委員長より、中高生など若い世代にむけてシンポジウムを実施したい旨、説明があり、テーマについてメールで依頼を行うので積極的に寄せてほしい旨、委員に対して依頼がなされた。また、分科会で企画するシンポジウムを哲学委員会の共催という形で実施する形もある旨、吉水副委員長より説明が行われた。

6. その他

とくになし